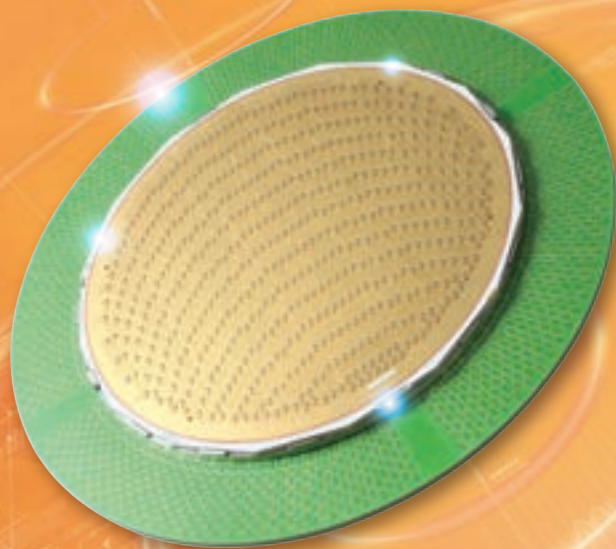


第64期 第2四半期のご報告

2022年4月1日～2022年9月30日



BUSINESS REPORT JEM TODAY



JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社

証券コード 6855

● トップメッセージ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2022年度第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の事業の概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長
大久保 和正

● 事業の経過及び成果

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、需給が逼迫していた自動車向け半導体は、徐々に供給体制が正常化に向かいました。一方、スマートフォンやパソコン向け半導体につきましては、景気の減速等による需要の冷え込みにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、非メモリー向けは、海外における拡販を推し進めた事等により、底堅く推移いたしました。しかしながら、前年同四半期において需要が旺盛だったメモリーIC向け製品につきましては、スマートフォンやパソコン向け半導体に加え、データセンター向け半導体においても需要が弱含んでいる影響等により、軟調に推移いたしました。以上により、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。利益面につきましても、為替が円安で推移する等の増益要因があったものの、売上高の減少及びプロダクトミックスの変化等により、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,562百万円(前年同四半期比14.8%減)、営業利益は1,240百万円(前年同四半期比58.8%減)、経常利益は1,530百万円(前年同四半期比49.7%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,082百万円(前年同四半期比49.6%減)となりました。

● 株主の皆様へ

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、中長期的には、デジタル社会への移行が世界中で進む中、半導体は様々な製品において需要の拡大が予想されており、それらを背景として、新たな半導体工場の建設等、半導体製造基盤の確保・強化に向けた動きも広がっております。一方、足元では、世界的な景気の減速、地政学的リスクの拡大等により、半導体市場や当社を取り巻く事業環境の不透明さは増しております。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、事業環境の変化に迅速に対応するとともに、中長期的な競争力の強化に取り組んでまいります。

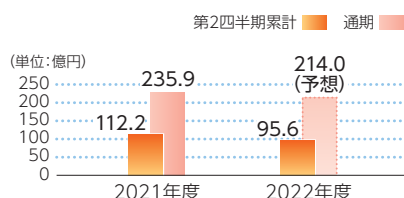
さらに、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する取り組みを推進し、持続的な成長及び企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

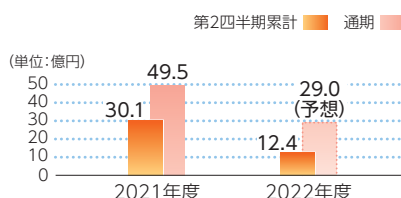
2022年12月

● 業績の推移 ※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

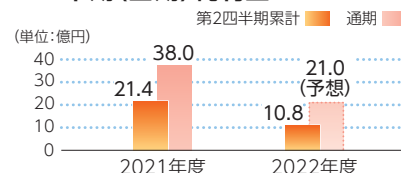
○ 売上高



○ 営業利益



○ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



半導体の品質を支える。

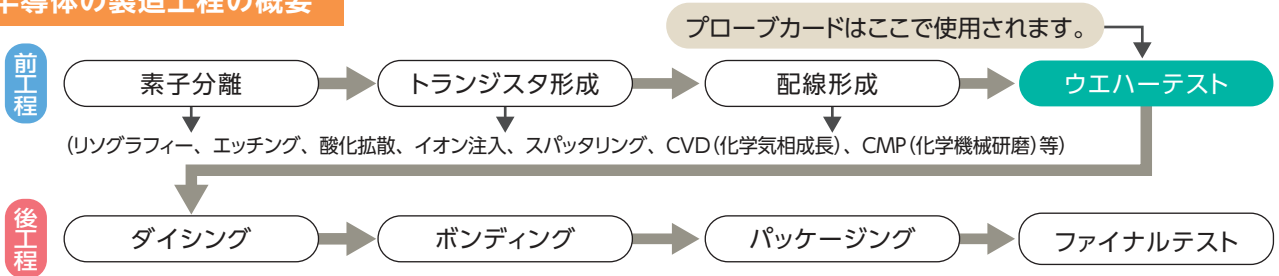
スマートフォン、自動車、サーバー等多くの製品を支えている半導体。
当社グループは、半導体の品質を支える上で必要不可欠な
プローブカードの開発、製造、販売を行っております。



プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の中で、ウエハーテストとよばれる電氣的な検査を行う工程で用いられます。
そして、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、最大10万本以上のプローブ(探針)を接触させ、電気信号を半導体
テスターに伝える重要な役割を担っております。
そのため、優れた電氣的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。

半導体の製造工程の概要



ウエハーテストの概要

ウエハーテストでは、半導体ウエハー上につくられたマイクロチップの電極に、プローブの先端部分を接触させて電氣的な検査を行い、マイクロチップの良否判別が行われます。



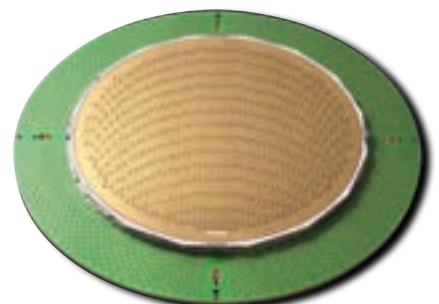
アドバンスプローブカード(Mタイププローブカード)

半導体ウエハー上につくられたマイクロチップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。データセンターやスマートフォン向けに市場が拡大しているNAND型フラッシュメモリ等の検査に使われています。たくさんのプローブを搭載した高密度なプローブカードを生産するため、MタイププローブカードにはMEMSとよばれる高度な技術が用いられています。



MEMS製造(クリーンルーム)

Mタイプ
プローブカード
(MC)



世界の主要な生産・販売拠点



これまで、当社は先駆的に海外にも生産・販売拠点を設けてまいりました。近年、半導体市場はアジアを中心に成長しており、海外戦略の重要性が増しております。今後も当社グループは、海外拠点のネットワークを活かした販売活動の充実を図るとともに、日本から各国拠点への一層の技術支援により、海外販売の強化を推進いたします。

技術の開発と製品化によって社会に貢献する。

半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として、その重要性はますます高まっています。当社は、1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、長年エレクトロニクス産業の成長に貢献してまいりました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化によって、社会に貢献する企業であり続けます。



● Topic

会社法改正に伴い、2022年9月1日より
株主総会資料の「電子提供制度」が開始されました。

詳細は、同封のリーフレットをご参照ください。



株式事項 (2022年9月30日現在)

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 40,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 12,625,314株 |
| 株主数 | 12,622名 |

大株主 (2022年9月30日)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|--------------------------------|---------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行(株) (有) 大久保興産 | 1,270千株 | 10.07% |
| (株) 日本カストディ銀行 | 766 | 6.08 |
| 大久保和正 | 540 | 4.28 |
| (株) 三菱UFJ銀行 | 504 | 3.99 |
| 古山陽一 | 309 | 2.45 |
| 大久保英正 | 220 | 1.74 |
| 上田八木短資(株) | 213 | 1.69 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 178 | 1.41 |
| 廣瀬英雄 | 169 | 1.34 |
| | 142 | 1.13 |

(注) 持株比率は、自己株式(15,800株)を除いて計算しております。

役員 (2022年10月26日現在)

| 取締役 | | |
|--|----------------------|--|
| 代表取締役社長 社長執行役員 (営業統括担当) | おおくぼ かずまさ 大久保和正 | |
| 取締役副社長 副社長執行役員 (品質統括担当) | さかた てるひさ 坂田 輝久 | |
| 専務取締役 専務執行役員 管理部門統括部長 (管理部門統括担当) | あだち やすたか 足立 安孝 | |
| 取締役 | いのうえ ひろし 井上 廣志 * | |
| 取締役 | なかもと だいすけ 中本 大介 * | |
| 取締役 | ながい ごう 永井 剛 * | |
| 取締役 常勤監査等委員 | たけはら まさたか 竹原 克尚 | |
| 取締役 監査等委員 | はまだ ゆきかず 濱田 幸和 * | |
| 取締役 監査等委員 | よしだ ひろゆき 吉田 博之 * | |
| *は社外取締役 | | |
| 執行役員 | | |
| 上席執行役員 MEMS統括部長 (MEMS統括担当) | みやもと よしゆき 宮本 佳幸 | |
| 執行役員 生産統括部長 (生産統括担当) | ふじい あきひこ 藤井 昭彦 | |
| 執行役員 製品技術統括部長 (製品技術統括担当) | さわい もりやす 澤井 守康 | |
| 執行役員 営業統括部長 | りゅう けいいち 龍 圭一 | |

会社概要

| | |
|-------|---|
| 社名 | 日本電子材料株式会社 |
| 英訳名 | JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION |
| 住所 | 兵庫県尼崎市西長洲町二丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表) |
| 設立 | 1960年4月6日 |
| 資本金 | 3,053,574千円 |
| 事業内容 | ●半導体検査用部品の開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売 |
| 株式市場 | 東京証券取引所スタンダード市場 |
| 証券コード | 6855 |

株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月中 |
| 基準日 | 定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/ |
| 公告の方法 | 当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。当社の公告掲載URLは次のとおりです。 https://www.jem-net.co.jp/ |

- (注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。